

## サトウキビの野生種交配集団の高貴化に伴う実用形質の変異

第 5 報 高貴化第 1 代における茎長の変異

高袋正樹・杉本 明・金城鉄男・\*George T. Silverio・\*Ronquillo D. Pillardo・\*\*Soejoto Sastrowijono  
(沖縄県農業試験場・\*フィリピンさとうきび委員会・\*\*インドネシア糖業研究所)Masaki SHIMABUKU, Akira SUGIMOTO, Kaneo KINJO, George T. SILVERIO, Ronquillo D. PILLARDO,  
Soejoto SASTROWIJONO: Variation of Some Useful Characters in the Sugarcane Hybrid  
Clones Between *S. spontaneum* and Commercial Variety. 5. Variation of Stalk length in  
Hybrid Clones of *S. spontaneum* and Commercial Variety

サトウキビの一茎重は茎長との関係があり、茎長は一茎重を通じて収量と関係する重要な形質である。サトウキビの野生種 (*S. Spontaneum*) は早期出穂性の系統が多いためか、茎長はあまり長くならないことが多い。このような *S. Spontaneum* の茎長が高貴化に伴ってどのように変異していくかは *S. Spontaneum* の育種の利用において重要なことと考えられるので第 1 次高貴化世代での茎長の発現について検討した。

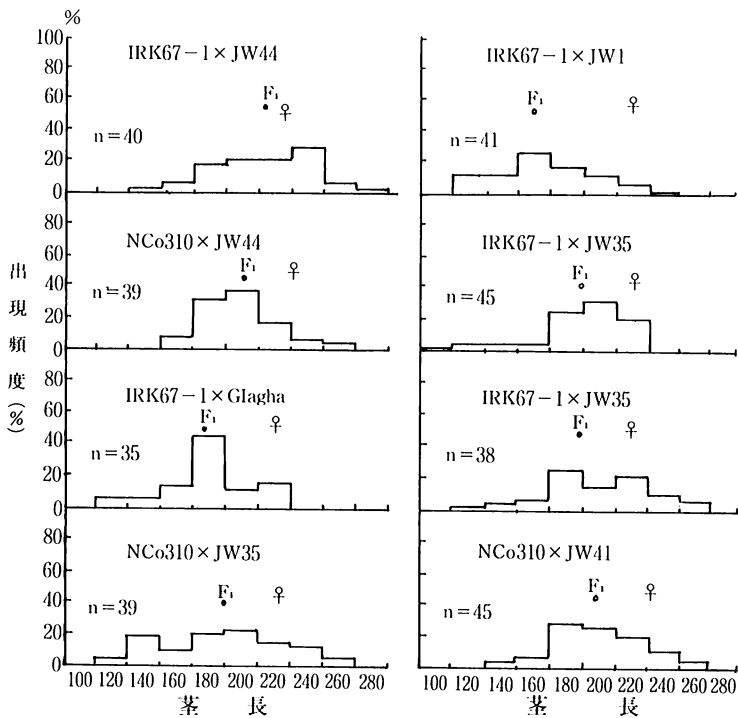
## 1. 材料および方法

1982年 4 月植付けの実生選抜から第 1 次高貴化世代 22

組合せを各 35 個体から 52 個体を連続的にサンプリングして収穫期に茎長を調査した。

## 2. 結果および考察

第 1 図に第 1 次高貴化世代における実生集団の茎長の変異を示した。第 1 次高貴化世代の実生集団の茎長の変異は、いずれの組合せにおいても母本の茎長を超越する個体が出現し、雑種強勢が発現されていると考えられた。しかし、実生集団の平均値では母体を越える組合せはみられなかった。

第 1 図 *Spontaneum* 交配集団  $F_1$  の茎長